

2024年9月6日
イオンフィナンシャルサービス株式会社

オープンイノベーションプログラム 「Our Purpose through Innovation」の 事業化挑戦権獲得アイデアを決定！

イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役社長：藤田健二、以下、当社）は、イノベーションプログラムを運営する株式会社 TECHFUND（共同創業者：松山 雄太、川原 びいすけ）の協力のもと、新規事業のアイデアを共同開発するための新しいオープンイノベーションプログラム「Our Purpose through Innovation」を開催し、事業化挑戦権獲得アイデアを決定いたしました。

本プログラムは、当社グループの Our Purpose 「金融をもっと近くに。一人ひとりに向き合い、まいにちの暮らしを安心とよろこびで彩る。」のもと、国内事業の再成長に向けた新規事業の創造をテーマに、社内での公募による選抜メンバーが考えたアイデアを、外部の革新的な思考や技術と組み合わせ、事業化を目指すチャレンジングなオープンイノベーションプログラムです。

最終審査会では、チーム「MOTTAINAIWA」の『スマホで持ち運べる AI 冷蔵庫』と、チーム「ペクーコン」の『金融学習ゲーム』の2つのアイデアを外部審査委員や当社役員、従業員の前でプレゼンテーションし、『スマホで持ち運べる AI 冷蔵庫』が事業化挑戦権獲得アイデアとして決定いたしました。今後、本アイデアの具現化に向けて、引き続き取り組みを進めてまいります。

■Our Purpose through Innovation 最終審査会概要■

- 開催日時** : 2024年7月10日（水）
開催場所 : イオンフィナンシャルサービス株式会社 本社
参加チーム : MOTTAINAIWA（協創企業_サッポロホールディングス株式会社 <https://www.sapporoholdings.jp/>）
: ペクーコン（協創企業_株式会社ウデキキカク <https://www.udekiki.com/>）
外部審査員 : 株式会社 TECHFUND 取締役 CSO 大西ラドクリフ貴士氏
: 株式会社 TAWO 代表取締役 阿部洋子氏



審査員コメント：

2チームとも堂々たるプレゼンテーションで非常に熱意を感じましたし、審査員からの質問にも的確に答えられており好印象でした。チーム「MOTTAINAIWA」は、オープンイノベーションを上手く体现できており、実現可能性、数値計画の蓋然性が高いと感じました。アクセラレータとして最終審査会を通過できたこと嬉しく思います。おめでとうございます！

チーム MOTTAINAIWA コメント：

これまで経験してきた業務は今あるものをどのように拡大していくか、ということでしたが、ゼロからビジネスを生み出すという経験ができ、新たな視点や考え方を身に付けることができました。そして、その経験を通じてお客さまの日々の生活における課題を解決したいという思いも生まれました。

本アイデアを早期に事業化させ、「人々の食材を捨ててしまうことによる心やお金のマイナスをなくし、まいにちのくらしをプラスにする」を実現したいと思います。

【Our Purpose through Innovation に関するお問い合わせ先】

イオンフィナンシャルサービス株式会社

経営企画部 ☞ ideathon@aeon.co.jp